

月報 白樺

ALPINE CLUB / WHITEBIRCH NAGANO

9月の活動予定

9月7日(火) 第一例会

9月18or19日(土 or 日) 佐武流山

CL:

10月の活動予定

10月5日(火) 第一例会

10月16or17日(土 or 日) 男山

8月の活動報告

7月25・26日(日・月) 甲斐駒ヶ岳 黒戸尾根

参加者:

7月25日(日)

天気:晴れ

江戸時代の終り頃、信仰登山によって開かれた山への道「黒戸尾根」。

甲斐駒ヶ岳へは、標高差の厳しい黒戸尾根を登るより、北沢峠からが危険も少なく時間も短い。仙丈との抱き合わせ登山もできる。そんな理由から、縁のなかった黒戸尾根がここ何年か気にかかっていた。

日本アルプス三大急登の一つ、残った黒戸尾根。元気のあるうちに歩いてみたい。そうして計画するも、2年前の秋は台風で中止、昨年はコロナ禍で中止、今年当初の計画は雨で延期となり、今回は計画どおりの山行となったが、晴天・猛暑の嬉しい悲鳴。

夏休みに入っていたが、コロナ禍の影響か道路はスムーズに進み、竹宇駒ヶ岳神社Pに早めの到着。神社で登山の無事を祈願して出発。すぐ尾白川にかかる吊橋を渡り山腹に取り付く。溪谷道を分けて十二曲りの急坂を過ぎ、もうひと登りで緩やかになり尾根をたどって登る。尾根の向きが変わってなお急登、樹林帯の坂を登って笹ノ平分岐を過ぎクマザサの中を笹ノ平へ。

八丁登りに取り付く前に大休止をとる。吹き出る汗でビッショリ。段差の激しい急坂を一歩ずつゆっくり進む。平坦な前屏風ノ頭を越え刃渡りを無事通過した。樹林帯に入り涼しい登山道をしばらく進むと鎖場になり、いよいよ黒戸尾根の核心部に入ったかと身の引き締まる思い。整備された梯子を登りきると刀利天狗に到着。二つの立派な祠と多くの碑が設置され、錫杖も建てられてあり信仰の山を実感できた。ここまで登れば何とかなる・・・と安堵感もあった様に思う。黒戸山を巻いてしばらくは緩やかな道に助けられたが鞍部

に向かって大下りとなり、少し手前の五合目跡地からひと下りして鞍部の底になった。そこにも立派な祠と沢山の碑が設置されていた。すぐ屏風岩の登りとなる。整備されたばかりの新しい梯子ではあったが垂直に掛けられた様には少し心臓がドキドキした。その後も岩場が断続し、鎖・梯子を慎重に通過した。そのような険しい地形にも関わらず数えきれない程の碑が苔むして鎮座し、信仰の力を知る事が出来た。

壁の様に立ちのぼる急登を過ぎて七丈小屋が見えた!!

嬉しい!! 斜面にへばりつくように建てられている七丈第一小屋、宿泊は第二小屋だった。現在の厳しい状況の中きちんと対策が取られ、整理整頓も

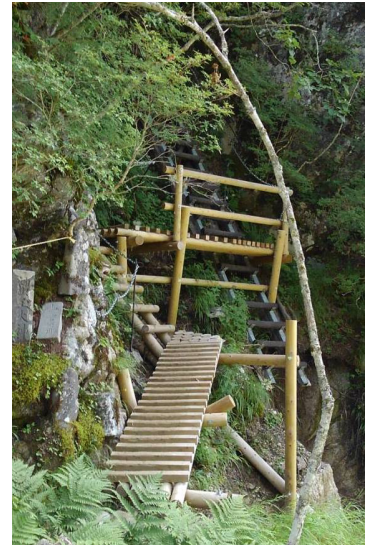
され、何より登山者が過ごし易いよう荷物置場も設けられ、明るさの少ない仕切り部分にはライトも用意されていた。豊富な水で冷やされたビールで乾杯。夕食はカレー、副菜も沢山あり美味、その上、3種類の疲労回復サプリメント付きだった。

就寝前、管理をされている登山家の「花谷」さんに、思い思いの用具にサインを頂いた。穏やかで優しい笑顔の青年でした。

7月26日(月)

天気:曇り時々晴れ

小屋からは木々が邪魔をしてご来光は見えないが、上のテン場まで行けば見えますよ、とのことなので行ってみることにした。雲が多く昨日見えた鳳凰三山も全く見えない。しばらく待ってみたが空に変化はなかった。小屋に戻って5時半から朝食をいただく。ほとんどの人はお弁当にしてくら





って既に出発したようだ。いらぬ荷物は小屋に置かせてもらい、少し身軽になって出発。30分ほどでハイマツ地帯となり青空も見えてきた。八合目御来光場からは岩に刺さった2本の剣がよく見える。山頂も時々姿を現すがそこまではまだまだ遠い。

下りてくる人から声がかかる。「富士山が見えますよ。私たちは真っ白でしたけど」(心の目で見たのね)次に下りてきた人からは、「雲海がき

っときれいですよ。私たちは真っ白でしたが」(あなたも心の目で見たのね)ゆっくり出発した私たちが展望に恵まれたようだ。岩稜地帯になるとダイコンソウ、ゴゼンタチバナ、ツマトリソウなどの花も現れた。甲斐駒らしいといえば甲斐駒らしいのだが、なかなかしんどい登りだ。

山頂ではガスも少しずつ取れて仙丈岳が美しい姿を現し、その奥に続く南アルプスの山山も見えてきた。北岳、間ノ岳は少しだけ姿を見せる。

富士山は一瞬見えたがすぐに隠れてしまった。わき上がってくる雲がなんともかっこいい。

登ったあのハシゴ、鎖場を今度は下るのかと思うと、心配な気持ちに先に立ってしまうが、慎重に下ることとする。意外と辛かったのが笹ノ平までの八丁坂の下り。そしてその先から登山口までがとてつもなく長く感じた。降るようなヒグラシの声を聞きながら、早く着け！まだかまだか・・・とつぶやき続けていた。登り応えのある、いえ、ありすぎる山でした。



7/25

長野 (デポ P) 5:00 — 長坂 IC 6:35 — 竹宇駒ヶ岳神社 P 6:57 — 駒ヶ岳神社 7:30 — 笹ノ平分岐 9:45 — 刀利天狗 12:20 — 五合目小屋跡 13:15 — 七丈小屋 14:50

7/26

七丈小屋 6:00 - 八合目 6:50 - 山頂 8:15/8:40 - 八合目 9:40 - 七丈小屋 10:10/10:35 - 五合目 11:40 - 刀利天狗 12:20 - 笹平分岐 14:05 - 駐車場 15:40